

News Release

各 位

 岡三オンライン証券株式会社
 代表者：取締役社長 池田 嘉宏
 住 所：東京都中央区銀座3-9-7

F X レバレッジ規制による当社顧客への影響についての調査報告 【取引所 F X (くりっく 365) トップシェアの当社における顧客取引動向の中間報告】

岡三オンライン証券株式会社(所在地：東京都中央区、取締役社長：池田嘉宏)は、本年 8 月 1 日から実施された F X 取引のレバレッジ規制後の、岡三オンライン F X (くりっく 365) における 8 月中の顧客取引動向について、中間報告を取りまとめましたので、公表いたします。

(1) はじめに

今回の内閣府令改正により、F X 取引を行う投資家は、8 月 1 日以降、想定元本の 2% 以上の証拠金の預託が義務付けられました(すなわち、レバレッジは 50 倍以下となります。)

その影響を受け、東京金融取引所の「くりっく 365」全体における、8 月の 1 日あたりの平均取引数量(8 月 20 日現在)は、7 月比 22.4% 減と大きく減少しておりますが、当社におきましては同 13.1% 減に留まっております(8 月の市場シェアは 25.54%)。

■くりっく 365 における 3 ヶ月間の当社取引シェア (当社調べ)

6 月	7 月	8 月 (8 月 20 日現在)
26.05%	23.55%	25.54%

(2) 調査概要

- ・調査期間 平成 22 年 7 月 1 日～8 月 20 日
- ・対象口座 証拠金残高が 1 万円以上の有残口座

(3) 預り資産残高別に見た顧客取引動向

■岡三オンライン F X (くりっく 365) レバレッジ規制前後の取引動向 (8 月 20 日現在)

預り証拠金 残高	7 月 (規制前)				8 月 1 日～8 月 20 日 (規制後)				
	証拠金 比率	証拠金 (1 人平均)	口座 比率	取引数量 (日)	証拠金 比率	証拠金 (1 人平均)	口座 比率	取引数量 (日)	7 月比
全体	100%	3,904 千円	100%	90,653 枚	100%	3,898 千円	100%	78,792 枚	86.9%
300 万円以上	85.2%	13,404 千円	24.8%	60,003 枚	85.0%	13,330 千円	24.9%	58,801 枚	98.0%
50～300 万円	13.1%	1,352 千円	37.8%	18,872 枚	13.3%	1,361 千円	38.0%	14,206 枚	75.3%
1～50 万円	1.7%	178 千円	37.4%	11,778 枚	1.7%	182 千円	37.2%	5,785 枚	49.1%

預り証拠金残高で見ると、当社の取引数量の約 7 割を占める証拠金残高が 300 万円以上の顧客については 2.0% 減と僅かな減少に留まり、50 万円以上 300 万円未満の顧客については 24.7% 減、50 万円未満の顧客については 50.9% 減と、証拠金残高が少ない顧客ほど、今回の規制の影響で取引数量が減少しております。

■預り証拠金 50 万円未満層の取引動向

(一人あたり)

7 月取引数量 (1 日あたり)	7 月取引数量 1 人平均 (1 日あたり)	8 月取引数量 1 人平均 (1 日あたり)	7 月比
50 枚以上	119.9 枚	16.5 枚	13.8%
50 枚未満	2.6 枚	1.7 枚	64.4%

当社の顧客においては、証拠金残高の多い顧客層ほど、規制前からレバレッジ 50 倍以下で取引されており、今回の規制による影響を殆ど受けていないと考えられます。一方、証拠金残高の少ない顧客層ほど、取引の減少幅が大きくなっておりますが、その中でも特に高回転売買を繰り返している（投機的な取引をしている）顧客層については規制後、約 9 割の減少となっております。しかしながら、証拠金残高の少ない顧客層であっても中長期的な資産運用手段として FX 取引を利用している顧客については、規制前後で取引数量は大きく減少しておりません。以上から今回のレバレッジ規制の導入により、小口層の過度な回転売買が減少したことが見て取れ、これは規制導入の目的と合致していると考えられます。

(4) まとめ

規制により一時的に売買の減少が見られている事実がありますが、FX は今後もより生活に身近な商品として、入口商品の役割および安定した資産運用手段としての成長が期待されます。なかでも取引所 FX は税制優遇などのメリットから、より注目を集めていくものと考えております。初めて FX 取引を行う投資家の方にも安心して取引がスタートできるよう、投資家育成に一層力を注いでいく所存であり、また、外貨預金と比較できる低レバレッジ商品を準備中です。投資情報の充実化にも力を注ぎ、市場の健全な発展に寄与してまいります。

以 上

取り扱い金融商品に関する留意事項

●商号：岡三オンライン証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第52号

●加入協会：日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

●リスク：【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引では投資金額（保証金・証拠金）を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額（指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等）等、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引は対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数証拠金取引では建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【外貨建て債券】債券の価格は基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動するため、償還の前に売却すると損失を被る場合がございます。また、額面金額を超えて購入すると償還時に損失を被る場合がございます。債券の発行者又は債券の元利金の支払いを保証している者の財務状態の悪化等により、債券の価格が変動し損失を被る場合がございます。債券の発行者又は債券の元利金の支払いを保証している者の財務状態の悪化等により元本や利子の支払いが滞り損失を被る場合がございます。外貨建て債券は外国為替相場の変動などにより、円換算でのお受取金額が減少する恐れがあります。これにより円換算で投資元本を割込み、損失を被る場合がございます。【FX】外国為替証拠金取引は預託した証拠金の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本（証拠金）を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

●保証金・証拠金：【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【先物・オプション】発注必要証拠金および最低維持証拠金は、「(SPAN証拠金額×当社が定める掛け目)ーネットオプション価値の総額」とし、選択取引コース・取引時間によって掛け目は異なります。当社のWebサイトをご確認ください。また、変更の都度、当社のWebサイトに掲載いたします。【株価指数証拠金取引】発注証拠金（必要証拠金）は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】個人のお客様の発注証拠金（必要証拠金）は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは、取引金額（為替レート×取引数量）×4%以上の額とします。法人のお客様の発注証拠金（必要証拠金）は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額とし、店頭FXでは、取引金額（為替レート×取引数量）×0.34%以上（最低500円）の額とします。発注証拠金に対して、取引所FXでは、1取引単位（1万又は10万通貨）、店頭FXでは、1取引単位（1,000通貨）の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●手数料等諸費用の概要（表示は税込）：【日本株】個人のお客様の取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。法人のお客様は1注文の約定代金に応じたワンショットのみとなります。上限手数料は、現物ではワンショットが1,260円、定額プランが約定代金100万円以下で上限780円、以降約定代金100万円ごとに420円加算、また、信用ではワンショットが400円、定額プランが約定代金200万円以下で上限が630円、以降約定代金100万円ごとに315円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株に準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.05%（最低手数料5,250円）。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用の諸費用が必要です。売買にあたり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【外貨建て債券】外貨建て債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。外貨建て債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【先物】取引手数料は、日経平均株価先物が1枚につき315円（取引枚数により段階的減額あり）、日経225miniが1枚につき42円です。【オプション】売買手数料は、約定代金に対して0.168%、最低210円です。【株価指数証拠金取引】取引手数料は、1枚につき157円です。【投資信託】お申込みにあたっては、当該金額に対して最大3.675%の申込手数料をいただきます。換金時には基準価額に対して最大0.75%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。信託財産の純資産総額に対する信託報酬（最大2.4525%（年率））、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書をご確認ください。【FX】取引所FX通常コースの取引手数料は1取引単位あたり100円（取引枚数により段階的減額あり）です。1倍コースでは1取引単位あたり1,050円です。店頭FXは無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項等をよくお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。